

原子衝突研究協会は、日本における原子衝突および関連分野の研究を促進するとともに、国際交流をはかり、学術・文化の発展に寄与することを目的として、1976年に設立されました。

会員数336名(2010年4月現在)

主な活動

1) 研究会および原子衝突セミナーの開催

会員の研究発表のための研究会と、学生や若手研究者を対象とする原子衝突セミナーを毎年開催しています。

2) 学術誌の刊行

学術情報の提供と会員間の情報交換を目的として、原子衝突研究協会誌「しょうとつ」を隔月に発行しています。またホームページを運用するとともに、メーリングリストにより、迅速に情報を会員に提供しています。

3) 若手奨励賞

原子衝突および関連分野で優れた研究を行った若手研究者に対して、原子衝突研究協会若手奨励賞を贈っています。原子衝突研究協会創立20周年を記念して、若い研究者の輩出とその活動の発展を願って創設されました。

会員の区分と会費

| | |
|-----------|---------------|
| 正会員（一般会員） | 年額 5,000円 |
| 正会員（学生会員） | 年額 2,500円 |
| 賛助会員 | 年額（一口）20,000円 |

入会ご希望の方は、下記の当協会ホームページをご覧ください。

事務局所在地

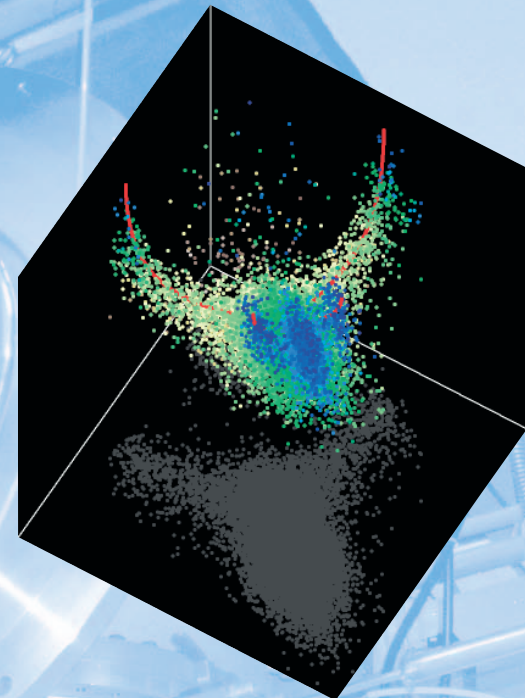
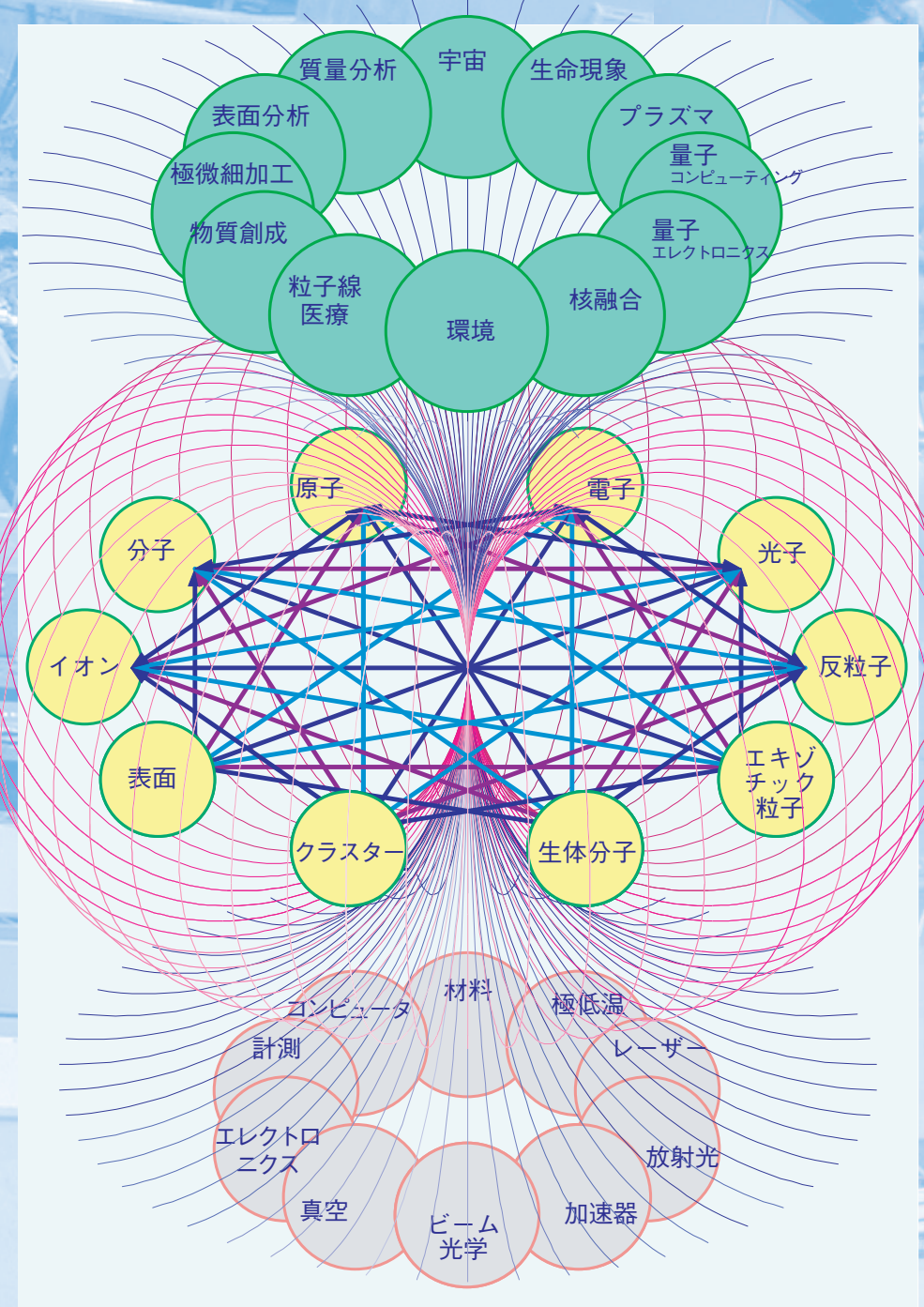
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-4-19
国際文献印刷社内 原子衝突研究協会事務局
TEL: 03-5389-6278 FAX: 03-3368-2822
E-mail: acr-post@bunken.co.jp

ホームページ <http://www.atomiccollision.jp>

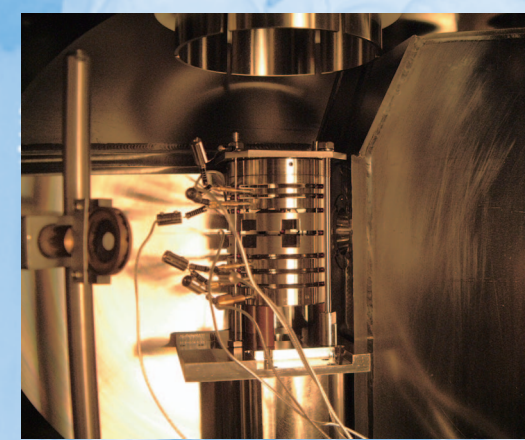
原子衝突研究協会

The Society for
**ATOMIC
COLLISION
RESEARCH**

ミクロ粒子のダイナミクスが拓く
新しい物質世界



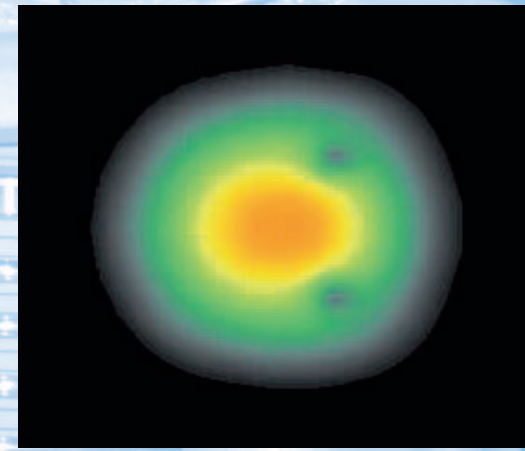
強光子場中CS₂の3次元運動量相関関



交差分子線散乱中心部



陽電子トラップ



BECの量子渦

若手奨励賞の歴代受賞者

- 第1回 (2000年度)
菱川明栄氏 (東大院理)
「強光子場中の原子分子ダイナミクス」
- 第2回 (2001年度)
木野康志氏 (東北大院理)
「組み替えチャンネル結合法による反陽子ヘリウム原子準位と反陽子質量の精密計算」
- 鳥居寛之氏 (東大院総合)
「反陽子ヘリウムのレーザー分光」
- 第3回 (2002年度)
中村信行氏 (理研)
「Tokyo-EBIT を用いたネオン様イオンのX線分光」
- 第4回 (2003年度)
高口博志氏 (理研)
「交差分子線散乱画像観測法による開殻系非弾性散乱の研究」
- 第5回 (2004年度)
新倉弘倫氏 (NRC ステーシー分子科学研究所、カナダ)
「電子・核相関波束対を利用したアト秒分子ダイナミクスの研究」
- 第6回 (2005年度)
樋山みやび氏 (分子科学研究所)
「R matrix/MQDT 法による分子内殻励起機構の解明」
- 第7回 (2006年度)
岸本直樹氏 (東北大学)
「時間相関2次元ペニング電子分光法による原子分子衝突電離過程の立体異方性の観測」
- 第8回 (2007年度)
間嶋拓也氏 (コンボン研究所)
「有限多体系における MeV イオン衝突励起とその緩和過程に関する研究」
- 第9回 (2008年度)
金井恒人氏 (理研)
「高次高調波を用いた原子分子のアト秒ダイナミクスの研究」
- 第10回 (2009年度)
金安達夫氏 (九州シンクロトロン光研究センター)
「多重同時計測法を用いた低速多価イオン・分子衝突ダイナミクスの研究」
- 第11回 (2010年度)
中野祐司氏 (理研)
「3次元コヒーレント共鳴励起を用いたX線-VUV領域の2重共鳴と磁気サブレベルコントロール」